

喇嘛教徒
と教育

又喇嘛教徒たる蒙古族は、固より學校の設備なく、只氈幕内にて多少喇嘛經文の誦讀、解釋及固有文字を習はしむること有るのみ。

要するに從來新疆人民の教育に就ては、政府更に干涉する所なく、各種族只其の遵奉せる宗教の範圍内に於て、纔に教育せるのみにして、一も是の以外に出でず。隨うて兒童に對しても、亦何等智識の發達を助成すべき學科を授くること非ざりしなり。

清國教育
の頓挫

是に於てか新疆人民は、只其の奉ずる所の宗教のみに心酔して、智識氣力空しく減退し、國家に盡すべき義務を辨別せざるは固より、風俗亦次第に廢頽に傾かんとす。因て清國政府は一時大に意を教育に注ぎ、諸處に義塾を設立して、回民子弟の入學を奨勵し、教ゆるに儒教の經書及支那語を以てし、専ら教育の普及發達を圖りしも、其の效果見るべきもの無く、爲めに現今全く廢絶せしめしは、洵に惜むべき事なりとす。

第二節 新設の教育